



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2/>

日本経営システム学会 第47回全国研究発表大会のご案内

この度の東日本大震災で被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、日本経営システム学会第47回全国研究発表大会は、平成23年12月3日(土)、4日(日)に山梨学院大学で開催されます。つきましては、多くの先生方のご参加およびご発表を心よりお待ち申し上げます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

記

開催日：平成23年12月3日(土)、4日(日)

開催場所：山梨学院大学 〒400-8575 山梨県甲府市酒折2-4-5 (7号館)

最寄り駅(JR中央線酒折駅、高速バス山梨学院大学前)

<http://www.ygu.ac.jp/accessmap/>

連絡先：山梨学院大学経営情報学部 金子勝一

Tel : 055-224-1337 Fax : 055-224-1384

E-Mail : shoichi@ygu.ac.jp

統一論題：「地方活性化と経営システム」

参加費：会員 5,000円、非会員 6,000円、学生会員 3,000円(当日支払いは1,000円高)

非会員の学生は当日支払いの学生会員と同額の4,000円

懇親会費：会員 5,000円、非会員 6,000円、学生 5,000円(当日支払いは1,000円高)

発表申込：本JAMS NEWS 6頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、10月3日(月)まで(厳守)に学会事務局宛に Fax. (03-3371-5185) して下さい。申込書ダウンロード、フォームによる申込みは学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2/> からでもできますのでご利用下さい。

発表原稿締切：11月7日(月)まで(厳守)、学会事務局宛

参加申込：次号JAMS NEWSに同封の振込用紙にて、上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

■発表者の方へ(会場設備について)

すべての発表会場には備え付けのPCとプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータ(USBフラッシュメモリー、CD-R)をお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノートPCをお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になりますので準備に時間がかかります。

■大学院生の方へ(学生発表優秀賞について)

学生セッションでは、優秀な発表を審査して学生発表優秀賞を授与しています。大学院生であれば、正会員・学生会員に関係なく学生セッションにエントリーすれば審査の対象となります。ただし学生セッションの発表原稿は、会員の種別に関係なく2ページとなります。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■大会会場へのアクセス

- <JR>JR 中央線酒折駅下車徒歩 2 分（特急では石和温泉駅乗換）、JR 身延線善光寺駅下車徒歩 12 分
- <高速バス>新宿駅西口高速バスターミナルから石和を経由甲府駅行バス、山梨学院大学前で下車。



■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則(学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jams2/html/prerule.htm>)に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前に、ぜひご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格
一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。
2. 学生会員の発表条件
学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。
3. 連名者の資格
研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約
同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い
口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について
既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと無断欠席
大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第 46 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 山下 洋史

日本経営システム学会第 46 回全国研究発表大会を、2011 年 5 月 7 日（土）、8 日（日）に開催致しました。震災後の影響が懸念される中で、120 名の方が参加され、47 件（うち学生発表 7 件）の研究発表が行われ、盛況のうちに終了致しました。

本大会は 30 周年記念大会でもあり、「経営システムと経営品質」という統一論題のもと多彩な研究発表・議論が行われました。とりわけ、「経営システム研究の課題と今後の方向性」のテーマにて 30 周年記念シンポジウムが行われ、文理融合を目指す日本経営システム学会として、他学会との位置付けや差別化すべき点、本学会の研究アプローチや今後進むべき方向性が操示され、パネリストとフロアとの間で非常に活発な議論が展開されました。このように、本大会は、経営システム学会の 30 年の研究活動の歩みを総括し、今後の学会のあるべき姿を探求し、提示することができた点で、とても意義深いものとなりました。

本大会の成功は、まさに、会員の皆様のご支援・ご協力の賜物でございます。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

JAMS 学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 田畑 智章

平成 23 年度第 46 回全国研究発表大会（於：明治大学 駿河台キャンパス）終了後、表彰委員会を開催し、司会者のご意見を聴取しながら慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の 2 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 「GNL とエントロピーモデルの等価性」 | 高橋 啓（早稲田大学） |
| 2. 「先行需要情報を用いた生産システムの分類と活用」 | 高橋 周平（県立広島大学） |
-

平成 22 年度第 4 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2011 年 3 月 4 日（金）、17 時 30 分～19 時 30 分
- II. 開催場所：東海大学高輪キャンパス 1 号館 3 階会議室
- III. 出席者：松丸、小田、椎原、羽田、石原、上原、上野、塩出、西口、野口、野々山、林、山下、石井、石田、板倉、金子、木全、佐藤、高橋、常田、松岡、松田、山田、監事）杉田、オブザーバー）福井
- IV. 議決事項
 1. 2010 年度第 3 回議事録の確認（西口）
 2. 会員の入退会について（西口）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 548 名、学生会員 133 名、賛助会員 1 社となった。
- V. 協議事項
 1. 第 46 回全国研究発表大会について（山下）：第 46 回大会の準備状況について説明、承認された。
 2. 役員選考規定等の改定について（林）：会則や役員選考規定の改定の取り組みについて説明がなされた。平成 23 年度中に十分に議論したうえで、平成 24 年度の総会で諮ることが承認された。
 3. 30 周年記念出版について（石原）：創立 30 周年記念出版に関する執筆要綱と出版契約書について説明がなされ、会長と記念出版委員長に一任されることが承認された。印税が発生したときは、学会の収入とし、執筆者への配分は行わないことが確認された。
 4. ICBI2011 の発表申込み状況について（佐藤）：ICBI2011 の発表申込み状況について説明があった。
 5. IJAMS の投稿状況について（塩出）：IJAMS の投稿状況について説明があった。海外からの投稿を積極的に募るために、「海外の研究者からの投稿については、IJAMS 編集委員会は理事会の議を経て掲

載料の減免ができる」という文言を運営細則に加える提案がなされ、内容の修正は IJAMS 編集委員会に一任することで承認された。

6. 総会資料の作成について（西口）：総会資料の作成について依頼があり、第 5 回理事会の資料作成に間に合うように事務局宛に提出することで承認された。

7. 総会および評議委員会開催について（西口）：総会および評議委員会開催について説明、承認された。

8. 研究部会設立申請について（山下）：平成 23 年度研究部会設立の申請があったことが報告され、研究部会の設立が承認された。

VI. 報告事項

1. 役員選挙の結果について（金子）：第 16 期被選出常任理事の選挙結果報告がなされた。

2. 第 45 回全国研究発表大会について（板倉）：第 45 回全国研究発表大会について報告がなされた。

3. 学生表彰の結果について（常田）：第 45 回全国研究発表大会における学生研究発表優秀賞について報告がなされた。また、表彰制度の運用方針に関して、今後再検討することとした。

4. 平成 22 年度収支状況について（上原）：平成 22 年度の収支状況について報告がなされた。

5. 学会誌の編集状況について（石原）：学会誌の編集状況について報告がなされた。

6. IJAMS の投稿状況について（塩出）：IJAMS の投稿状況について報告がなされた。

7. CIE40 からの寄付金の受け入れについて（石井）：CIE40 から寄付金の受け入れについて報告がなされた。この寄付金については、国際的な学会活動に用いることとした。

8. 他学会への協賛について（西口）：平成 22 年度他学会協賛についての報告がなされた。

9. その他（松丸）：第 16 期常任理事に対し担当委員会メンバー選出の依頼がなされた旨の報告があった。

平成 23 年度第 1 回理事会のまとめ

I. 開催日時：2011 年 5 月 7 日（金）、12 時 15 分～12 時 55 分

II. 開催場所：明治大学 駿河台校舎 1104 教室

III. 出席者：松丸、常田、小田部、椎原、浅井、石井、石原、板倉、上原、上野、佐藤、西口、野々山、福井、松岡、山下、石田、今井、金子、塩出、鄭、杉田、高橋、立川、中桐、野口、林、原田、松田、宮下、毛利、柳田、山田、監事）小田、田畑

IV. 議決事項

1. 平成 22 年度第 5 回議事録の確認（西口）

2. 第 32 回通常総会議案書について（椎原）：第 32 回平成 23 年度通常総会議案書(案)が提案され、評議員名の誤りを修正し承認された。通常の総会進行の役割分担について確認がなされた。

3. 学会役員・各種委員会委員・評議員について（松丸）：学会役員・各種委員会委員・評議員について提案、承認された。なお、各種委員会の委員は、理事会の承認があれば随時追加できる事を確認した。

4. 会員の入退会（西口）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 540 名、学生会員 121 名、賛助会員 1 社となった。

V. 協議事項

1. 第 46 回全国研究発表大会の準備状況について（山下）：第 46 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。

2. 第 47 回全国研究発表大会の準備状況について（金子）：準備状況の説明がなされ、承認された。なお、発表申込、発表原稿締切の期日については、資料の日程よりも遅らせることになった。

3. ICBI2011 の準備状況について（立川、佐藤、奥原）：査読がほぼ終了し、プログラムの作成に移る予定であるとの報告があった。発表をされない先生方においても是非司会を引き受けていただきたい旨の依頼がなされた。また、発表者ならびに司会者には招聘状を送付することが確認された。

4. 電子メールによる審議について（椎原）：電子メールによる審議について確認がなされた。

5. 評議員会について（椎原）：従来は総会資料の活動報告に「第〇期評議委員会」と記載していたが、誤解を招くので今後は「第〇期」を削除したいとの提案があり、了承された。

VI. 報告事項

1. 評議員会の開催について（松丸）：理事会に先立ち、評議員会が開催されたことが報告された。

2. 会員数の増大について（上野）：会員数増強を図りたい旨の提案があり、理事への協力が依頼された。

3. 会費未納会員への対策について（上原）：会費未納会員に対する回収を強化したいとの報告があった。

4. 会員名簿の発行について（上原）：今年度は会員名簿を発行しない計画であるが、予算に余裕ができれば会員の最新情報を保持するために調査費を計上する旨の報告がなされた。

経営情報研究部会・経営ネットワーク研究部会合同開催のお知らせ

開催日：2011年9月10日（土） 14：00-17：00

開催場所：逗子開成学園海洋教育センター

〒249-8510 神奈川県逗子市新宿2丁目5番1号

JR 横須賀線逗子駅または京浜急行新逗子駅下車徒歩12分

<http://www.zushi-kaisei.ac.jp/others/route/route.html>

発表者：報告テーマおよび報告者

テーマ1「ソーシャルメディアを活用した情報発信とコミュニケーション」

報告者：横浜商科大学 柳田 義継 氏

テーマ2「絆の構造と情報の役割に関する一考察」

報告者：(元) 関東学院大学経済学部・人間環境学部教授 博士(学術) 花岡 菖 氏

連絡先：経営情報研究部会：林 makoto-hayashi@jcom.home.ne.jp

経営ネットワーク研究部会：用松 mochimatsu@itc-ri.jp / 寺本 kanaeteramoto@gmail.com

その他：研究会終了後、懇親会を開催します。こちらへも多数のご参加をお待ちしています。

地域デザイン研究部会のお知らせ

日時：9月10日(土)16：00～18：00

会場：明治大学 紫紺館3階S3

駿河台キャンパス地図 http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

概要：①研究会発足の目的と今後の活動、原田（多摩大学）

②かがわアグリノベーションコンソーシアムの取り組みについて、板倉（香川大学）

③九州における地域ブランドの取り組み～筑前町のクロダマルを例として、山田（中村学園）

懇親会：18：30～20：30 明治大学 カフェパンセ（明治大学アカデミーコモン 1階）

懇親会会費：3500円

参加お申込み先：香川大学大学院地域マネジメント研究科板倉研究室 office@italabo.com まで、お名前、ご所属、メールアドレス、研究会の出欠、懇親会の出欠をメールにてお送りください。

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2011年9月10日（土） 15：00-17：00

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館5F 小田部研究室

発表予定者：「アルファベット組立作業の実験設計に関する研究」

山下洋史（明治大学）・臧巍（早稲田大学）・鄭年皓（明治大学）

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2011年9月17日（土） 14：00-16：00

開催場所：早稲田大学 14号館 1060号室10F

発表予定者：未定（決定次第、メーリングリスト、ホームページにて連絡・掲示させていただきます）

連絡先（幹事）：田畑 智章（東京富士大学） Tel.03-3368-2154 E-Mail:tabata@fuji.ac.jp

金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

受付番号 _____

日本経営システム学会 研究発表申込書

平成 23 年度 第 47 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研究部会名 (研究部会発表の場合)	代表者名: ()	

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)				

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。
2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)
3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@hh.ij4u.or.jp